



# 品川区の教育

## 品川教育ルネサンス

### —For The Next Generation—

品川区では、次代を担う子どもたちのために、これまでの教育改革で培った成果を生かしながら、制度の見直しや施策の再構築を図り、新たな「品川教育」を創生する「品川教育ルネサンス -For The Next Generation-」を進めています。

#### 品川教育ルネサンスの三つの柱

##### 三校種体制における 学校教育の推進

異なる学校種が存在する中で、学校の特色や個々の可能性を高める学校教育の推進

##### 地域とともにある 学校づくり

品川コミュニティ・スクールの実施により、学校の主体性を高め、地域との協働による特色づくりを行う学校体制の構築

1

2

3

##### 9年間の一貫した カリキュラム

これからの時代を生き抜く  
児童・生徒を育成する  
9年間の一貫したカリキュラムの実現

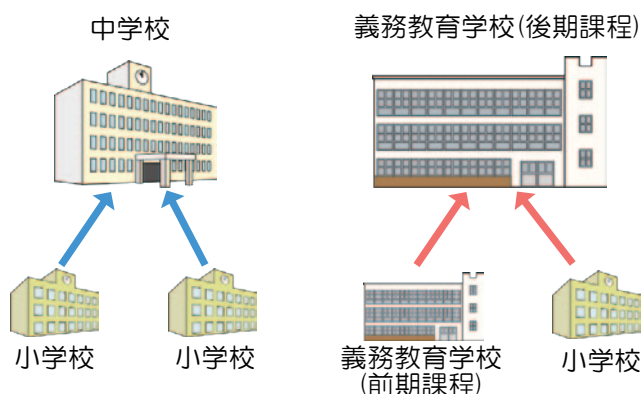
平成30年9月  
品川区教育委員会

# 三校種体制における学校教育の推進

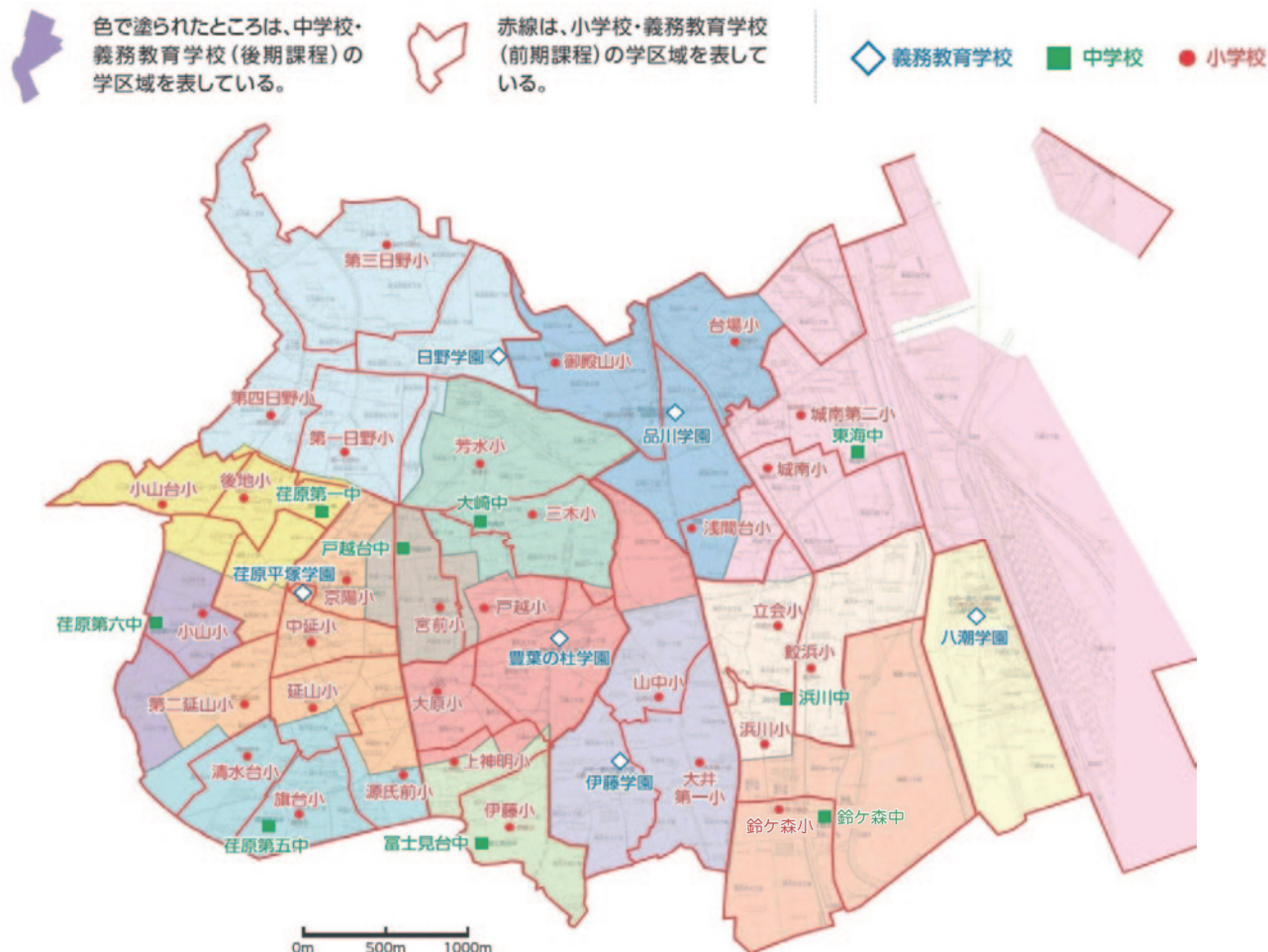
## 小学校・中学校・義務教育学校

平成 27 年の学校教育法の一部改正に伴い、平成 18 年度から順次設置してきた施設一体型小中一貫校 6 校を平成 28 年度に「義務教育学校」として位置付けました。現在、小学校、中学校、義務教育学校の三つの校種を設置しています。

### 品川区の一貫教育



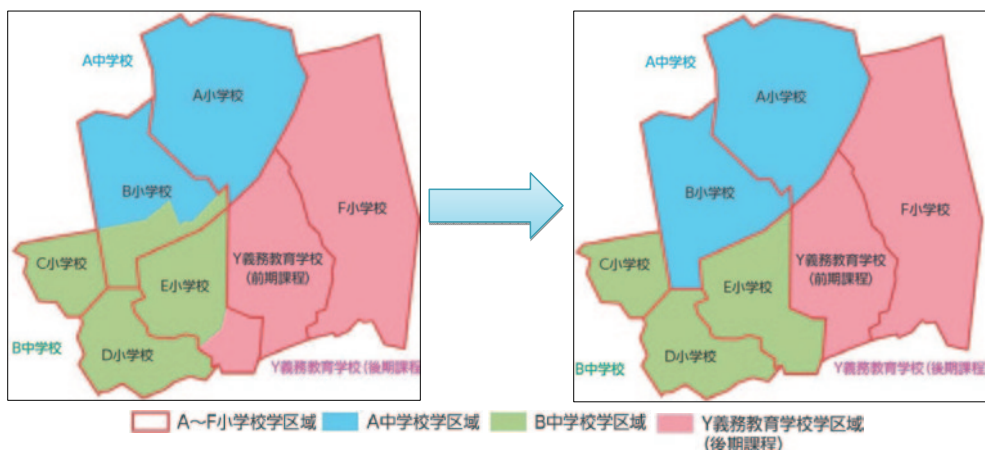
本区では「品川区立学校教育要領」に基づき授業を行っているため、どの学校、どの校種を選択しても同じカリキュラムで学ぶことができます。



## 学事制度審議会（平成 30 年 3 月）による答申の概要

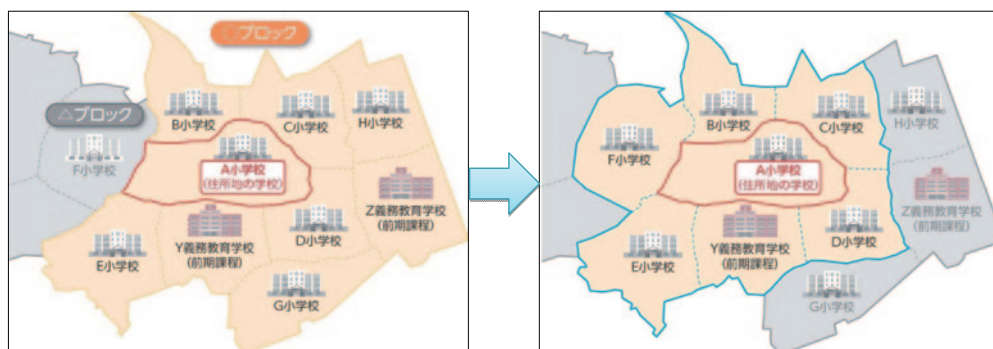
品川区では「品川教育ルネサンスー For The Next Generation ー」の方針のもと、これからの子どもたちにとってより良い教育環境を確保するため、平成 28 年 10 月に「品川区学事制度審議会」を設置し、教育に関する制度などについて 1 年半にわたり検討を重ねてきました。平成 30 年 3 月、審議会からの答申が示されたところです。

### ①学区域の見直しの考え方



同じ小学校から進学する中学校・義務教育学校（後期課程）が複数に分かれないよう学区域を見直し、一つの中学校・義務教育学校と複数の小学校からなるグループを構築することで、グループ内の学校間の連携を深めながら一貫教育をさらに推進する体制を整えること。

### ②学校選択制見直しの考え方



#### 【小学校・義務教育学校（前期課程）の学校選択】

- 地域とともにある学校づくりをより一層推進していくためにも、ブロック内の選択を廃止して住所地の学校と隣り合う（隣接）学区域の学校から選択できる仕組みを整えること。
- 住所地や隣接学区域に義務教育学校がない場合でも、必ず小学校と義務教育学校のいずれかを選べるような仕組みとなること。

#### 【中学校・義務教育学校（後期課程）の学校選択】

- これまで通り区内全域から自由に選択できる仕組みが順当であること。その上で、一貫教育の効果をより高めるため、抽選の際に優先順位を設定するなど、運用面で一段と工夫を凝らすこと。

※平成 31 年 4 月に新 1 年生・新 7 年生になられる方については、現在の制度が適用されますので、学校選択制や学区域に変更はありません。